

あきる台たいむす

Akirudai Times



さつき薬局

秋川店

0425-58-8416

(あきる台病院すぐ前)

介護用品・一般薬品・保険調剤

月・火・水・木・金 9:00~18:30

土 9:00~13:00

※日曜・祭日はお休みです



医療法人財団 暁

あきる台病院

〒197-0804

東京都あきる野市秋川6-5-1

TEL (042) 559-5761

FAX (042) 559-8054

2013年（平成25年） 11月 1日

第22号

発行人：あきる台病院(医療福祉相談室)

お役に立てる医師を目指して！

内科 浅見 勉

平成二〇年より非常勤として勤務しております。内科の浅見 勉です。

もともと埼玉県飯能市生まれで高校まで過ごしております。将来の事はと考へて時に、普通の能力の者でも最も人の役に立ちそうな職業として医師を目指しました。業から始めたいとの思いで、北海道か九州かと考え、熊本大学医学部へ進みました。当時は水俣病、カネミ油症などの多くの問題が社会を賑わせており、学生としても避けて通ることのできない問題でした。同時にハンセン病の患者さんと多く接する機会もなかで「一人ぐらい俺たちを診てくれないか」と言われ、卒業後直ちに数人の友人と北九州市内の診療所に就職した契機となりました。

ます。そこでは現在のよう専門分化しておらず、依頼があれば何でも診るとの考えで今度言う救急科・総合診療を行っております。

一〇年位すると人的にも余裕ができた検査・腹腔鏡などをういた検査・治療に従事しております。その後はリハビリ医療や、障害者の透析医療などに従事したりして、患者を救済してしま、一時的にリタイアを余儀なくして、埼玉県に戻ってきた時に、ご縁があつて「あきる台病院」で非常勤医師として勤務し、今日に至っております。主には、埼玉県和光市にあります重度認知症専門病院の内科部門にて働いております。あきる台病院では主に2階にご入院されている方の診察を担当しております。



第58回「歌を楽しむ会」のお知らせ (入院患者様、ご家族様)

あきる台病院では、入院患者様とご家族、職員とが歌と一緒に楽しむレクリエーション会を毎月第3水曜日に行っております。毎回多数の患者様、ご家族様のご参加を頂き、楽しい会を催すことができております。

平成25年11月20日(水) 3:00~4:00
1病棟デイルーム(合唱、リズム体操など)



あきる台グループボランティア募集中

あきる台グループホームでは、お年寄りの方々と楽しく過ごしていただけるボランティアを募集しております。

※詳しくは医療福祉相談室まで

院長先生をはじめ、スタッフの皆様への援助を受けながら、少しでも患者様のお役に立てればと考えております。

これまで「愚直」を肝に銘じて、平凡な私にできることは人より早く勤務につき、人より遅く帰るという単純な毎日を繰り返してゆきたいと思っております。また、唯一の楽しみは草臥れた200ccのスクーターでいたる所へ道さえあれば走っております。今のところ北九州ナンバーのバイクに年寄りが乗って、バタバタしてはいたらすみません。今後ともよろしく、お願い申し上げます。

精神科外来

当院外来には精神科があり、精神科医師と共に様々な対応をしているのが、精神保健福祉士(PSW)である私の仕事であります。

寒くなつてくるこの季節、外来では「季節性情動障害」の患者さんが増えてきます。季節性情動障害の概要は、ある季節にのみ、体のだるさや疲れやすさ、気分の落ち込みなど、うつ病に似た症状が出る。脳機能障害の一種です。障害などともいいます。

昔と違い、4大疾患に精神疾患が加わり5大疾患となつた今、精神科を受診することには特別なことではありません。

・なんとなく憂うつ
・なんだか夜眠れない
・物忘れが気になる
などといった症状が出現したら、早めの受診をおすすめします。当院の医師、または精神保健福祉士にご相談下さい。

PSW 小河原弘司



あきる野市高齢者サービスセンター(萩野・開戸・五日市)

ヨルイチに参加しました!

あきる野市高齢者在宅サービスセンター(萩野・開戸・五日市)がヨルイチの一般出展に参加しました。その経緯や当日の様子を、各サービスセンターセンター長にインタビューしてきました。

※萩野センター長:小田、開戸センター長:宮田、五日市センター長:田島、インタビュアー:MSW岩澤

岩澤:まず最初に、ヨルイチ(五日市)というのは、ご存知の方も多いとは思いますが、どのようなイベントなんですか?

田島:昔、五日市地区にあった「市」を再現し地区外からの多くのお客様に「市」の魅力を楽しんでもらうと共に地域の活性化に繋げようというものです。

岩澤:なるほど、映画の五日市物語を見ましたが、五日市という地名の由来も五日に一回「市」が開かれていたからでしたよね。その「市」の再現な訳ですね。では、そのヨルイチに今回、あきる野市高齢者在宅サービスセンター3センター合同で出展されたのは、どのような経緯なんですか?

小田:今年4月から医療法人財団 暁が3センターの指定管理者になったこともあり、何か新しいことにチャレンジしてみたい。また、地域の皆さんに3センターを知ってもらいたい、センターの職員の雰囲気を知ってもらいたいといったことが、出店するきっかけになりました。

岩澤:出展に際して、いろいろご準備も大変だったと思いますが、いかがですか?

宮田:出店に際し、きゅうりの一本漬を300本。ラムネ300本。おにぎり200食を準備することにしました。これが決まるまでも「あれや、これや」ありました。とにかく初めてなので、全てが手探りで、見当すらつかないまま、やっていたのが正直な所です。とにかく、皆で話し合いながら準備をしました。準備も楽しんで出来ました。

岩澤:当日の様子ですが、いかがでしたか?売れ行きなどは?

宮田:お天気にも恵まれ、大勢の人が来店されました。3センターの職員みんなで参加し、楽しむことが出来ました。思う存分、ヨルイチを満喫することが出来ました。売れ行きはというと〜、・・・、まあまあかな・・・。今後の課題ですね。(笑)

岩澤:私も当日は参加させてもらいましたが、ホント、盛り上がってましたよね。ヨルイチ自体初めてだったのですが、「100年前の町の雰囲気再現する」といった五日市の市を再現する」といったコンセプト通り、情緒あふれる町の雰囲気、さまざまなイベント、街道沿いのお店の名産品、満喫させて頂きました。センターのお店のきゅうりの一本漬は、子供に大好評でしたね〜。ありがとうございました。では、最後になりますが、ヨルイチに参加してのご感想をお願いします。

宮田:「達成感」にあふれ、楽しい一日を送ることが出来ました。。久しぶりの浴衣姿もなかなかのものだったでしょう!ご協力ありがとうございました。

田島:今回いろいろ考え、きゅうりの一本漬、ラムネということで出店しましたが、思っていたより売れず・・・。ただ、ヨルイチに参加したことで、あきる台病院の栄養科の方や、新しい法人の仲間と一緒に出来、楽しさを共有できたので良かったです。次回に向けて、皆さんに喜んで頂ける内容を考えていきたいです。

小田:初めてのヨルイチ出店ということで、期待と不安でいっぱいでした。地域の皆様、センターの利用者さんが買いに来て下さり、とても嬉しかったです。温かいお言葉もたくさん頂き、頑張ることが出来ました。日頃では出来ない経験をたくさんさせて頂き、職員の団結力も一層深まった気がします。大変だったけど楽しかった!そんなヨルイチ初参加の感想です。

岩澤:センターの皆さんのパワー全開のヨルイチでした。センターの事業としては、げんき応援事業など地域の福祉拠点としての新しい活動も目白押しと伺っています。是非、皆さんのこのパワーで盛り上げていって下さい。

介護保険の相談は

□ お問い合わせ □

TEL:042-550-6101



あきる台病院 ケア・サービス

訪問看護・訪問介護・居宅療養管理指導
居宅介護支援・通所リハビリ・訪問リハビリ

確かな技術

快適性
安心

人間ドック



あきる台病院 健診センター

皆様の健康を、心・身・社会の観点から多角的に
チェック・確認し、適切なサービスで支援します

□ お問い合わせ・ご予約はこちらまで □

TEL:042-559-5449/2943(直通)